

生涯活躍のまち（笠間版CCRC）基本計画（案）【概要版】

1. 計画策定の趣旨

国においては、人口減少、少子化、高齢化が進み、かつ、東京への一極集中が加速化する中で、まち・ひと・しごと創生総合戦略に「生涯活躍のまち」の推進を位置づけ、地方への新しい「ひと」の流れづくりを推進している。

【国における生涯活躍のまち構想】

東京圏をはじめとする地域の中高齢者が、希望に応じ地方や「まちなか」に移り住み、地域住民や多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくりを目指すもの。

本市においては、「人口減少の抑制」、「人口構造の変化に対応したまちづくり」、「地域経済の活性化」が課題となる中で、平成23年度から住宅整備の誘導等の研究を開始し、平成27年度に策定した笠間市創生総合戦略において、全世代に対する施策として生涯活躍のまちの推進を位置づけ、推進協議会の設置など、具体化に向けた取組を進めてきた。その中で、本市における生涯活躍のまち（笠間版CCRC）構築の基本的な考え方をまとめたものとして本計画を策定し、持続性のある笠間暮らしの創出に向けた取組を推進するものである。

2. 生涯活躍のまち（笠間版CCRC）の方向性

本市は、「文化交流都市」を将来像として設定しているとともに、WHOが提唱する「健康都市」を都市理念としたまちづくりを進めている。また、地理的要件などを含め、全世代を対象とした「生涯をとおして活躍できる暮らし」を実現できる豊富な地域資源を有している。

【市の特性】

- ①健康都市かさま
- ②高い移動の利便性
- ③安心を提供する医療・福祉環境
- ④豊富な芸術・文化資源
- ⑤大学連携による学びと活発なボランティア
- ⑥先駆的な二地域居住施設及び独自の東京圏との交流

これらの特性を踏まえた中で、生涯活躍のまち（笠間版CCRC）では、居住者が市全体を活動の場とする考え方と単一のコミュニティだけではなく市内全域に広がっていく「まちまるごとの生涯活躍のまち」の構築を方向性として設定する。

3. 基本理念・ビジョン

生涯活躍のまち（笠間版CCRC）の基本理念は、全世代における住みよさの向上を目標とし、「笠間市全体に波及する将来に希望をもち、安心を感じる「笠間暮らし」を創出する」ことを基本理念とする。そして、この理念の実現に向けて、市の特性を十分に生かした「芸術・知的・健康空間の構築」を、新規に構築するコミュニティのビジョンとする。

4. 取組み

生涯活躍のまち（笠間版CCRC）では、5つのコンセプトに沿って、充実した時間を過ごす姿が目にすることができる「暮らしの可視化」、質の高い住宅の整備誘導等による「充実した生活の条件整備」、来訪、再来訪、二地域居住、定住という移住に向けた各過程における支援策の確立等による「移住・二地域居住戦略の構築」を進めていく。

【5つのコンセプト】

- ①「学ぶ・楽しむ・働く」の循環
産学官連携による実践型の講座と軽就労が連動する仕組みの構築
- ②医療・福祉サービスの提供（データヘルス・地域連携）
クラウドシステム等を活用した健康向上に資するサービスの提供
- ③まちなか型居住空間の提供
日常生活における利便性が高く、各種体験を付加する暮らしの提供
- ④移住・二地域居住の支援
相談、お試し居住といった段階的な支援の実施など無理のない移住の促進
- ⑤移住者・市民参画型コミュニティの形成
移住者と市民の相互がコミュニティづくりに参画する機会の設定

【笠間版 CCRC 構想の全体像（イメージ）】

